

2022 年 F2B 日本選手権に於ける得点集計方法と順位決定について

【概要】

2022 年 F2B 日本選手権に於ける得点集計方法と順位決定は以下の通りとします。

1. 予選

- ・各サークルにおける 3 名ジャッジの演技毎の結果を上下カットする。
(中間点を採用)
- ・サークル毎の千分率順位に基づいて、両サークルのハイポイントで最終的な予選順位を決定する。
- ・得点はサークル毎で千分率にて算出されるため、各サークルの 1 位は A サークル、B サークル、両方共に 1000 点となります。

2. 決勝

- ・ 5 名ジャッジの演技毎の結果を上下カットする。
- ・ 2 ラウンド実施し、その合計点で順位を決定する。

3. 不測の事態における順位決定方法

予選ラウンド終了後天候不順等により決勝ラウンドを中止せざる得ない状況が発生した場合は、「予選時における A、B サークル得点（上下カット後）の集計得点の良い方」を最終得点とし、順位を決定します。

【趣旨】

過去の日本選手権に於いて、複数の選手より集計計算内容に疑問意見が呈されたことがあり、今回その意見を代表して委員より変更の提案がありました。

意見の一例

- ・ 予選に於けるジャッジ間で合計点に大きな差があることが見受けられた。
100 点前後の差が見受けられることが多々ある。
- ・ 集計計算方法が複雑で良く分からない。

等

一般的に曲技競技に関しては、タイムを競う競技とは異なり、絶対的な評価のもとに採点すること自体不可能と考えられます。

これまでの日本選手権にて採用された採点方法も過去の歴史や世界選手権に於ける採点方法の内容を参考に試行錯誤を重ねて取り纏めたものです。

しかしながら上述のような疑問意見が呈されることとなったのは事実であり、であればより良いものを求めて改善を進めていくことが重要な事と考え、今回見直しを実施しました。

演技毎に 3 名ジャッジの得点の上下カットすることで、ジャッジによる偏りを軽減することができると考えられます。これにより従来の方法に比べ公平感を向上させます。

これはあくまでも予選の順位を決定するためのものであり、決勝進出選手上位 15 位を決定するのには大きな障害にはならないと考えられます。

これまでの日本選手権の様に1ラウンドと2ラウンド毎で千分率を算出して順位を決定した場合、選手の半分が各々異なるサークルでの結果になるためサークル間のジャッジの偏りは解消されません。したがってサークル毎の偏りを解消するため、サークル毎に全選手の集計を行いAサークル、Bサークルの千分率の結果に基づく得点のハイポイントで順位を決定していました。

この方法であれば、サークル間のジャッジの偏りは軽減されることになります。但しラウンドによる試技を行った時間の差によって生じる飛行条件の差は無くすることはできません。この時間による天候の差は現在でも存在するものであり、ジャッジによる偏りではありません。

【最後に】

集計方法に関しては、絶対的に公平性があり完璧な方法確立することは困難と考えております。

今後も継続して参加選手、委員から意見を出し合ってより良い方向を模索していくこととしたいと考えております。

2022年9月28日

CL委員会